

桂川だより

令和8年度
第1回学校評価特別号
京都市立桂川小学校
校長 土居 祐一

学校教育目標

「自ら課題を見つけ、人とのかかわりながら
豊かな心とことばで達成する子」の育成
自伸・共伸 ～自ら伸びる・共に伸びよう～

めざす子ども像

- ・目的意識をもち、意欲をもって解決しようとする子
- ・わかる喜びを知り、知る喜びを知り、自ら学ぶ子
- ・自分のおもいを、適切なことばで伝えられる子
- ・学び合える学習集団の中で自己有用感を持って育つ子
- ・互いの良さを尊重し、自分も他の子どもも大切にすること

第1回子ども育みアンケートの結果から

7月に実施しました第1回子ども育みアンケートの結果をお知らせいたします。

本校の学校教育目標に照らし合わせた項目を設定し、「児童」「保護者」「教職員」それぞれの自己評価という形でのアンケートとしています。3者がそれぞれに取組やかかわりを振り返り、見直しの視点を明らかにするとともに、今後の取組の改善につなげられればと考えます。

アンケート結果集計表

質問ごとの回答の「そう思う」を「◎」、「大体そう思う」を「○」、「あまりそう思わない」を「△」、「そう思わない」を「－」で表示しています。

児童アンケートでは、「きまりや約束を守って生活している」「友達の良いところを認め、仲良くしている」の肯定的評価がともに94%と高く、規範意識や思いやりの気持ちが育っていることがうかがえます。一方、「朝読書やそれ以外の時間にも進んで本を読んでいる」の肯定的評価は69%、「毎日進んで家庭学習をしている」は76%となり、読書習慣や家庭学習の定着が課題として見られます。

保護者アンケートでは、「家庭でのきまりや約束を決め、守るようにうながしている」が98%、「学校は児童の成長を支えようとしている」が97%と高い評価を得ており、家庭での継続的な働きかけや学校の教育活動への信頼がうかがえます。一方、「お子さんが本をよく読むように読み聞かせをしたり勧めたりしている」の肯定的評価は67%となり、読書習慣の定着が今後の課題として捉えられています。

これらの結果から、基本的な生活習慣や規範意識、人との関わりについて、学校と家庭が連携した取組の成果が見られ、読書習慣の定着や主体的に学ぶ力の育成については課題が見られます。

児童					保護者				
質問項目	◎	○	△	－	質問項目	◎	○	△	－
学習中、「めあて」を大切に学んでいる。	46%	43%	9%	2%	学校の教育目標や目指す子ども像について理解している。	26%	68%	5%	1%
むずかしいと思うことでも「やってみよう」と思って、取り組んでいる。	52%	39%	8%	1%	お子さんが目的をもって学習に取り組む姿が見られる。	29%	57%	13%	1%
授業中、友達と考えを伝え合っている。	51%	37%	10%	2%	お子さんが自分の考えを言葉で伝える力が育っていると感じる。	34%	54%	12%	
毎日進んで家庭学習をしている。	42%	34%	19%	5%	お子さんに、家庭学習が習慣化するよう働きかけている。	39%	50%	11%	
朝読書やそれ以外の時間にも、進んで本を読んでいる。	42%	27%	19%	12%	お子さんが本をよく読むように読み聞かせをしたり勧めたりしている。	25%	42%	29%	4%
学校生活は楽しい。	65%	24%	8%	3%	お子さんが楽しく通学できるよう、学校の出来事で楽しかったことについて家庭で話を聞くようにしている。	55%	41%	3%	1%
友達や先生、地域の方に、あいさつをしている。	53%	33%	12%	2%	お子さんが 家庭や地域、学校で挨拶できるように声をかけている。	50%	46%	3%	1%
友達といっしょに考えたり、助け合ったりしている。	54%	36%	8%	2%	お子さんが家族と助け合って生活する姿が見られる。	50%	44%	6%	
友達の良いところを認め、仲良くしている。	64%	30%	5%	1%	学校は、児童の成長を支えようとしている。	51%	46%	3%	
規則正しい生活リズムで生活し、毎日朝ごはんを食べている。	63%	24%	9%	4%	お子さんが、早寝・早起きをし、毎日朝ごはんを食べるようにしている。	66%	30%	4%	
きまりや約束を守って生活している。	54%	40%	5%	1%	家庭でのきまりや約束を決め、守るようにうながしている。	55%	43%	2%	
					お子さんが、できるだけ自分で考えて正しく判断し行動できるように声をかけている。	42%	56%	2%	
					HP、学校だより、予定表、参観日などから、学校での様子や教育方針が伝わっている。	44%	51%	4%	1%

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「**京都はぐくみ憲章**」を実践しましょう!



成果① 規範意識の育成と基本的生活習慣の定着

児童の規範意識が育ち、自ら考えて適切に行動しようとする態度が身に付いてきていることが分かります。**家庭と学校が共通した意識**をもって指導に取り組んできたことが、児童の望ましい行動につながっているものと考えられます。

また、毎日の生活リズムを整えたり、朝食をしっかりとったり、約束やルールを意識して行動したりすることは、落ち着いた学校生活や学習活動の基盤となる大切な力です。こうした結果は、ご家庭で日頃から生活習慣づくりや食生活の充実に取り組んでいただいている成果であると考えています。学校でも、保健だよりや給食だよりを通して、健康な生活習慣や望ましい食習慣について情報発信を行うとともに、日々の教育活動の中で継続して指導を進めています。

成果② 学校生活の充実と温かな人間関係づくり

多くの児童が楽しさや安心を感じながら学校生活を送っている様子がうかがえました。学級や学年での学習や学校生活を中心に、仲間との良好な関係を築けるよう取組を進めています。学習の中では、協働的な学びを通して、学習内容の理解を深めるだけでなく**児童同士のつながり**を深めることも目指しています。担任による交換授業や専科教員による授業により、多くの教職員が子どもたちの成長に関わる体制を整えています。また、総合的な学習の時間などを通して地域の施設や人々と関わりながら学びを深めており、人とのつながりを大切に作る姿が見られます。また、児童会活動やたてわり活動などを通して、**学年を越えたつながり**や思いやりの心を育む取組も進めています。

こうした日々の積み重ねが、安心して過ごせる学校づくりや良好な人間関係の構築につながっているものと考えています。



課題① 読書に親しむ習慣づくり

本校では、子どもたちが本に親しむ機会を大切にしており、朝の読書活動や年 2 回の読書週間、10月実施の選書会、学校図書館の活用を進めています。さらに、「本のたね」の皆様による読み聞かせは、子どもたちが本の楽しさや物語の世界に触れる貴重な機会となっています。国語科の学習では、学習内容に関連した図書を学校司書が準備し、教科書の物語文や説明文以外にも関連図書に触れる機会を設けています。

読書に関する項目が低い結果となった背景には、デジタル機器の普及により読書時間の確保が難しくなっていることや、児童が興味・関心に応じた本と出会う機会が十分でないことが考えられます。今後は、児童が本に親しみ、**読書の楽しさを実感**できる取組を学習や学校生活の中で充実させることで、読書習慣の定着につなげていく必要があると感じています。

課題② 主体的に学ぶ力の育成

家庭学習に取り組む習慣は定着していますが、主体的に学ぶ力には課題が見られます。与えられた課題に取り組むことが中心となり、**自ら考えて学習を進める経験**が十分ではないと考えました。

自ら考えて学習を進める経験を増やすために、児童は「自伸ノート（自主学習）」に取り組んでいます。各学年の発達段階に応じて内容や方法を工夫しながら、自分の力を伸ばすための学習習慣の定着を目指しています。特に高学年では、「何のために学習するのか」「どのような力を伸ばしたいのか」を意識して学習のめあてを立て、学習後には取組を振り返ることを大切にしています。このような積み重ねを通して、自分に必要な学習を考え、主体的に学びに向かう力を育てていきたいと考えています。

学校運営協議会より

- 総合的な学習の時間に、ゲストティーチャーとして話に行ったことがある。年に一回だけでなく、複数回の機会を設けて小学校と関わる取組をお願いしたい。継続的な取組の方が、幅広く協力をしやすい。
- 各学級や学年で学力保障のために、休み時間や放課後等の時間に個別に指導されていることは良い。だが、各学級での取組に差が感じられる。学校として、統一した取組の方向性があるとよいと思う。
- 自伸ノート（自主学習）の取組は、児童が何を取り組めば良いのか迷うのではないか。児童は自分のためにと考えて、実際に行動に移すことは難しいかもしれない。授業と関連させた取組だと、児童は何に取り組むかを決めやすくなるのではないか。また、全校児童が見る掲示板で、互いにどんな自主学習に取り組んでいるかを見られるようにするのはどうか。

桂川小学校より

ホームページの更新について

各学級の様子をより詳しくお伝えするため、日常の学習や活動の様子をより保護者の皆様に伝わるように教職員一同でホームページの更新を心掛けていきます。

完全下校について

完全下校の日は、放課後に学校に残って遊ぶことができない日です。完全下校の日については、児童に配布する週予定への記載に加え、学校だよりにも完全下校の日を明記し、保護者の皆様にもお知らせしていきます。完全下校ではない日は、放課後に運動場に残って遊ぶことができます。

運動会の観覧場所について

運動会では、保護者の皆様に児童の活躍する姿をより見やすい環境でご覧いただけるよう、観覧場所の工夫を検討しました。これまでは、団体演技や団体競技において、観覧場所によっては児童の様子が見えにくいことがありました。今年度は、演技・競技学年の保護者を対象に校舎と本部席・児童応援席の間のスペースを特別観覧エリアとして活用するなど、より多くの方が児童の頑張る姿を近くで見ることができるよう改善を図っていきます。

